

校長短信

H28. 8. 8

No. 4

広島県立
大柿高校
Tel: (0823)
57-2055



【野球の全校応援】

雨天順延となった七月十五日（金）、音戸・大柿連合チームは呉二河球場で呉三津田高校と対戦しました。

この日のために校歌を覚え、毎朝応援練習を繰り返してきた大柿高校生は、近年では初めての全校応援に臨みました。グラウンドで土まみれになってプレーする学友たちに、最後まで大歓声を送り続けました。試合には惜しくも負けましたが、選手たちは晴れやかな顔をしていました。音戸高校3年生の保護者から「こんなにとくさんの人に応援してもらったのは3年間で初めてでした。大柿高校さんのおかげです」と涙ながらにお礼を言われました。大柿高校生がまた一つ成長しました。学校の一体感がまた一つ高まりました。

【芝のその後】

六月十八日（土）に3万株の芝を植え、七月十九日（火）には追加の5千株も植えました。土日も欠かさず毎日夕方、地域支援者の方が2時間近くかけてグラウンドに水撒きをしてくださいます。おかげでこんなになりました！



【再び芸北分校視察】

八月三日（水）には、PTA役員・学校支援者の方たちと共に教職員有志で、再び芸北分校のオーブンスクールにお邪魔しました。生徒たちがすべて取り仕切って校内を案内し部活紹介を行うウオークラリー、明るく爽やかな全校合唱・元気いっぱい



のリンゴ踊り・圧巻の神楽ヤマタノオロチを披露した昼食アトラクションなど、アイデア満載の行事でした。また十一月の芸分祭には大挙して伺います。芸北分校の皆さん、いつも本当にありがとうございます！

【同窓会総会】

八月七日（日）能美海上ロτζジにて、大柿高校同窓会総会が行われました。環境副大臣・衆議院議員の平口洋様、県議会議員の沖井純様、江田島市長の田中達美様（本校同窓生）、江田島市教育委員会教育長の塚田秀也様の御臨席も得、ま



ばゆい瀬戸の海を眺めながら、楽しいひと時を過ごしました。関東支部の高齢の方が「僕らの頃は東大や京大にも進みよった。遠く離れている者ほど母校は恋しいものです。どうか母校を守ってください」と膝を詰めて語られました。御安心ください、必ず存続させますから。

巻末エッセイ「涙の真珠」

猛暑お見舞い

立秋は過ぎたがとにかく暑い。毎朝続けてきたひとり挨拶運動も、しばし夏休みをいただいている。

校長室にはエアコンがある。ほっとする。生き返る。が、我が家にはない。したがって水をかぶる。いわば瞬間冷却法であるが、焼け石に水。帰宅が修行に近い。

週日、多くの教職員とカーブ観戦をした。投手陣が崩壊し十九対三という歴史的スコアで敗戦したあのゲームである。やれ暑さ倍増！だが職場の同僚たちと和氣藪々と過ごした時間は、やれ楽しかった！暑さとストレスは比例しないらしい。（海坊主）